

令和5年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：原市場地区行政センター

日時：令和5年5月31日（水）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

保育所跡、原市場福祉センターウッドデッキ跡の活用について、有志でその場所の草刈り、砂場の草取りをして綺麗にしている。保育所跡地は、保育所の子どもたちが散歩に行ったりする場所でもあり、子どもから高齢者まで憩える場所であってほしいが、原市場中学校のサブグラウンドでグラウンドゴルフをする方たちの駐車場になっている時もある。グラウンドゴルフの駐車場は原市場福祉センターの駐車場を使ってもらいたいと考えている。瑞穂町には、健康器具が設置され、綺麗に整備してある公園があり、そのような場所にしていきたい。この地域には公園がないので、憩える場所、避難場所になるように整備されることを望んでいる。ウッドデッキ跡も避難に使える場所、テントを張っていただくなど憩える場所にしていきたい。

【回答】

土地の有効利用の方法、手段につきましては、高齢者の方が使う、或いは子どもたちが使うなど色々なケースがあるかと思います。市が主導というよりはこの地域に関係する方や団体等と今後協議をさせていただくようにと考えております。

【ご意見②】

ふれあいミーティングを開催していただき感謝している。どの施策も素晴らしいと感じた。特に広島平和記念式典への小学生の派遣や中学生子ども議会、子育て支援策は素晴らしいと思う。

2つ程お願いがある。1つ目は、加齢性難聴者への補聴器購入の補助制度を実施してほしい。70歳以上の約半数が加齢性難聴者と言われている。請願が市に出され、常任委員会で趣旨採択をされていると聞いている。補聴器は家族等とのコミュニケーションにとっても有効であり、鴻巣市では、高齢者だけではなく18歳以上の中等度の難聴者に助成していると聞いている。飯能市もぜひ実施してほしい。

2つ目は、高齢者の自動車運転免許証の自主返納者へのバス代の補助金制度をお願いしたい。飯能駅までの往復でバス乗車料金が1000円近くかかり、交通費が負担になっている。バス代の補助制度を実施してほしい。

【回答】

補聴器購入の補助につきましては、現在、行政としてどんなことができるか、近隣の自治体等の調査をしているところであります。検討させていただきたいと思います。飯能市は地形上、交通不便地も多く抱えていると認識しております。免許返納者へのバス代補助につきましては、交通安全上の観点から補助を出すか、福祉の面で検討していくべきか、課題の整理を進めております。どのように市民福祉に繋げていくか検討をしていますのでご理解いただきたいと思います。

【ご意見③】

中沢自治会内には上水道の未給水地域があり、各自、山の水、井戸を掘った水で暮らしている。１０年以上前に狭山保健所に水質検査を依頼したところ、大腸菌が検出されたり、生では飲まないようにとの見解を受けた。地域にキツネが出てエキノコックスの恐れもあるので簡易水道等の整備等を検討してほしい。県内９９．８％が簡易、専用水道等が整備されている状況で、そのわずかな未整備地域にこの地域が含まれているのは残念なことで、県内整備率１００％に近づけるよう進めてほしい。

【回答】

飲料水の確保につきましては、山間地域給水施設整備費等補助金を拡充したところですが、それでは間に合わないということだと思います。この地域だけでなく、南高麗、吾野等にも未給水地域があり、そういった地域にこういった形で飲料水を安全に安定して提供できるか、これは飯能市の大きな課題だと思います。検討できるか少しお時間をいただきたいと思います。水質検査などにつきましては、補助制度等がございますので有効にご活用いただければと思います。

【ご意見④】

ツデーマーチのクリーンウオークに参加したが、その目的と成果をお尋ねしたい。例えば、参加者数、拾ったゴミの重量、参加した人の意見などを知りたい。日頃歩きながら、ゴミ拾いを行っている。他の地域で拾っても回収してくれる場所がなく、クリーンセンターに捨ててくれと言われている。ツデーマーチで今回は初日１０キロコースに、国道、陸橋等にゴミの多い場所があった。日頃、市民清掃デーや地域の清掃での盲点になっているのではないかと。また、石垣の排水管にコーヒー缶等が入っていることが気になった。一部にその排水管の入口に覆いがついている場所がありその場所はゴミを突っ込むことができない。多分石垣はそれぞれの方の私的な土地なので、行政としてはそのようなところのゴミを少なくなるような形で助成とかやっていただければ、まちも綺麗になると思う。

【回答】

ツデーマーチのクリーンウオークは、地域の方たちに使わせていただいた道路を綺麗にしてお返ししようという目的で、最後にクリーンウオーカーがゴミを回収しながら歩いています。ゴミのポイ捨ては、基本的にはゴミを捨てる人のモラルの問題であると考えますので、ゴミを捨てないように啓発に努めていきたいと考えます。石垣の排水管の空き缶につきましては、行政としてどのようなことができるのか考えさせていただきたいと思います。クリーンセンターへのゴミの持ち込みですが、クリーンウオーカーが拾ったゴミは分別してクリーンセンターで受ける事になっていると思います。ただ、クリーンセンターまでゴミを持って行くのに手間がかかるということですので今後、運営側の方でそれをどうしたら負担を軽くすることができるのか検討させていただきたいと思います。

【ご意見⑤】

森林境界の明確化を今年度から始めるとのことで安心した。地籍調査が進めば災害時も即復旧に繋がるので引き続きお願いしたい。

現在、５０年、１００年経過した杉、檜の山が今までに経験したことがないような荒れている状況である。何年か前に、立木が土砂で崩れた映像がニュースで流れてショックを受けた。杉は根を下に張らず、横に張るので地すべりを誘発する。木も重くなれば、根も耐えられないので一斉に流れていく。私はその辺についてこれから１０年後、３０年後を心配している。国が花粉症対策で、１０年プランとして杉全体の１割を伐採する。３０年プランでは全体の９割を伐採し、その後花粉の少ない杉を植えるとのことだが、杉を植え続けると山主は管理をしていかなくてはならない。また、日本の住宅の構造が変わり、杉やヒノキは建築材としては使われなくなっており、木材の需要が減り、先は見えない。新たな森林文化を作るのであれば、広葉樹にするとか、何か人を呼べるような、今のうっそうとした山では人を呼ぶことはできない。賑わいによる経済好循環創造プロジェクトにも木の種類を替えることによって、道がついていくのではないかと思う。

【回答】

今年度から第７次飯能市森林整備計画が始まり、森林整備に取り組んでおりまして、その中で木を広葉樹に部分的に替えていこうという計画は持っております。保水力をあげるには広葉樹に替えることが必要であると考えております。長期的なスパンですが、針葉樹と広葉樹を合わせたような山にしていこうと計画を進めているところでございます。木材の需要が減っているとお話ですが、本市では、木の良さを西部地域まちづくり協議会構成自治体や近隣自治体等にＰＲして、積極的に使っていただく取り組みを実施しております。そのようなことをしながら山の再生に取り組んでいきたいと考えます。

【ご意見⑥】

市長が説明された施策について、教育に力を入れていて非常に賛同できる。その中で広島平和記念式典等への小学生の派遣や中学生子ども議会の開催は、小中高の連携でやってほしい。子ども議会は単年度とせず、８０周年、９０周年、１００周年を目指してやってほしい。学校現場は大変だと考えているが、小中高の連携をとってやっていくことが大切だと考えている。平和教育については、広島への訪問だけでなく県内の施設や人材を活用することも良いのではないかと。「しらさぎ会（埼玉県原爆被害者協議会）」の肉声を聞くことや東松山市にある埼玉県平和資料館、丸木美術館等、身近なところを活用したらどうか。また、「黒い雨」、「火垂るの墓」等の映画鑑賞等、全領域で平和教育をバックアップするのが大切だと考えている。

【回答】

昨年、飯能市立博物館で飯能市平和都市宣言記念「ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展」を開催し、大変多くの人に来ていただき、戦争の悲惨さに触れていただくことができました。子どもたちの関心も高く、開催して良かったと考えております。広島平和記念式典等への小学生の派遣について、今年度は市制施行７０周年記念事業として開催させていただき、その後についてはどのような規模で実施できるのか、本日いただきましたご意見を参考にさせていただきたいと思っております。また、秋に市立博物館で「原市場展」を開催する予定ですので、是非ご覧いただきたいと思います。

【ご意見⑦】

以前、市長が市長選挙に立候補した時に、原市場地域に対する公約を挙げたと思うが進捗状況について教えていただきたい。

また、原市場は川遊びの場所が多く、今のところトラブルはないが不法投棄が何回かある。「緑と清流のまち 飯能」を謳うのであれば、飯能河原のようにルールを作り、営業する人も利用する人もルールに則って責任を持って使うようにしてほしい。

【回答】

原市場版の公約の進捗状況の主なものとしまして、まず、原市場マップの作成につきましては、原市場グルメマップを活用し関係各課、地域住民協働で原市場地区の魅力を発信するという事で現在取り組んでおります。原市場の中心地にミニタウンをということですが、本年10月半ばから飯能市立博物館で、原市場を特集した展示会を行う予定でありまして、それが入り口であると考えます。県道工事につきましては、様々な要因で工事が進まない状況にありましたが文化財発掘について先が見えてきました。道路工事は来年度にずれ込むようですが、早く進むように県へ働きかけを行っていきます。未給水地域につきましては、残念ながら結論は出ておりません。唐竹つつじヶ丘団地の側溝の修繕につきましては、その都度傷んだところを直させていただきます。赤工中自治会の道路拡幅ですが、時間がかかるかもしれませんが検討していきたいと思います。スポーツ広場につきましては、地域に公園がないので広場を作りたいとの声があります。昨年度、支部長さん方とお話をさせていただきました。その中で、広場を新たに作っても高齢化も進んでいるため、地域として管理することは難しいとのお話をいただいております。新たにスポーツ広場を作るのではなく、あるものを活用し、健康遊具の設置や、軽い球技ができるような整備はできると考えております。

飯能河原につきましては、奥むさし飯能観光協会が一生懸命取り組んでいただいております。その関係で利用者が上流へ流れていることは承知しております。河川のルールづくりということですが、このことについては、市、県、地元、事業者と一度話し合いをしたいと思います。今の問題だけではなく、長い間のこともあると思いますので、少しお時間をいただくようになるかと思っております。ご理解いただきたいと思っております。

【ご意見⑧】

中学校の校則について。原市場中学校に限らず、飯能市内の全ての中学校でツーブロックやポニーテール禁止という髪型などの身だしなみに関する校則があるが、はっきり言って、多様性の今の時代にそぐわないと思う。周りの大人、友人の中にもそう思っている人がいる。この機会に中学校の校則を改めて見直して欲しい。

【回答】

貴重なご意見をありがとうございます。各学校の決まりがありますので、学校、教育委員会にこの意見をしっかり伝えます。

【ご意見⑨】

市長公約の「自然災害に強く環境にやさしいまちづくりに取り組みます」の内容について、「自然災害に強く」の内容は本日の説明で理解できたが、「環境にやさしいまちづくり」の具体的なイメージがわからないので、具体的にどのようなことが教えてほしい。

【回答】

環境に優しいということは、現在、世界的な問題であります脱炭素ですとか環境に悪影響を与えるものはなるべく出さないようにしていかなければならないということがあります。温暖化に繋がり、大きな自然災害を招く悪循環を止めなくてはならないと考え挙げた公約であります。公共事業についても環境に配慮したやり方で実施したいと考えております。例えば、道路を通す場所に木の枝がある場合、以前は木を伐採しておりましたが、これからは残していくやり方を行っていきます。このようなことを実施することで地球温暖化に歯止めをかけたいという気持ちからこの公約を挙げましたのでご理解いただきたいと思います。